

会 議 録

会 議 の 名 称	第4回宍粟市市歌制定委員会	
開 催 日 時	令和6年9月26日 19:00～21:05	
開 催 場 所	宍粟市役所本庁舎 3階庁議室	
委 員 長 氏	野村 和男	
委 員 氏	(出席者) 小野 嘉昭・前野 尚子・幸長 咲良・中田 郁子・久住 ゆき奈・長野 堯・嶋村 郁子・山村 晶・山木 美香	(欠席者)
事 務 局 氏 名	市長公室 水口公室長、中尾次長、西川次長兼秘書政策課長 委託事業者 音楽制作 SHIOKAWA	
傍 聴 人 数	—	
会議の公開・非公開の区分及び非公開の理由	(議題及び決定事項) 公開・非公開	(非公開の理由)
議 題	協議事項 ・ 作詞案の検討について ・ 曲調の検討について	
会 議 経 過	別紙のとおり	
会 議 資 料 等	別紙のとおり	
議 事 録 の 確 認 (記名)	委員長 野村和男	

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容
事務局	～開会～
委員長	市歌ができれば市民のみなさんの記憶に残る歌になるものと思います。また、委員のみなさんにとっても素晴らしい経験になるのではと思います。本日もよろしくお願いします。
事務局	議事の進行を委員長お願いします。
委員長	それでは議事を進めさせていただきます。本日の議事は、2点ございます。作詞案と曲調の検討についてです。1番目の作詞案の検討につきましては、この案のままでよいか、また一部修正が必要か、ご意見をいただき議論をお願いします。それでは1番目の作詞案の検討につきまして、事務局から説明をお願いします。
事務局	作詞案を皆さんに配布をさせていただきました。また、前回の会議で皆さんに五つ程度フレーズを頂きまして、それを黒板に書きとめたものを皆さんにも配布をさせていただいております。歌詞について検討頂く際のポイントを、事務局から3点説明をさせていただきたいと思います。まず1点目ですが、この歌詞に宍粟市ならではの地域性が反映されているかという点を確認頂けたらと思います。市歌は、地域の特性や歴史、文化風土を反映させることが重要であると考えております。前回の会議の中で、宍粟市の特徴である豊かな自然資源について非常に意見が多くあったと思っております。宍粟市の特徴が歌詞に盛り込まれているか、確認頂けたらと思います。次に2点目でございます。愛情とか誇りという意見も頂いております。そういった視点が表現されているか。市民の皆さんが、自分の町を誇りに思い、また愛する気持ちが歌詞に込められているか、そういった視点も非常に大切にであると思いますので、この歌詞の中に盛り込まれているのかを確認頂けたらと思います。最後に3点目でございます。やはり多くの市民の皆さんに慣れ親しんで頂くには親しみやすい表現となっているのかという点も大切かと思っております。市民の皆さんに伝わりやすい表現になっているのか、そういった視点も踏まえて、検討頂けたらなと思います。ただ、その3点以外にももちろん、各委員の皆さんがお気づきになられたことがあろうかと思っておりますので、ご意見を頂けたらと思います。委員長から話がありましたとおり、今日の作詞案が示された中で、このままでいいのか、もしくは、一部修正が必要なのか、今日の委員会でもとめていただければと思います。
委員長	作詞案が手元のほうに届いておりますので、これを御覧になりまして、率直な感想を言っていただけたらと思います。先ほど事務局からの3つの視点が示されました。1つは地域性が反映されているかどうか。2つ目に、誇りや愛情を表現しているかどうか。それから3つ目に、親しみやすい表現になっているかどうかという3つの視点。そのほか必要な視点があれば、委員の皆さんから

	御意見をいただきたいと思います。今から1分間、歌詞のほうを見ていただいて、順番に皆さんの感想を聞かせていただきたいと思います。
事務局	1点、資料の概要を説明させていただきます。まず1枚目の手書きのものが、作詞家の成案です。2枚目のワープロ打ちの縦書きのものが、腹案ということで、1枚目の手書きの後段のところ、グリーングリーンMYCITY、グリーングリーンMYCITY宍粟というところがあります。 2枚目の縦書きでは、2回繰り返しているところがグリーンCITY、また、豊かな自然とか、後段のところが違いがあります。この作詞家の先生が作詞に当たって、イメージを膨らませたところで、こういう視点で作詞をされたという概要説明でありますので、それもあわせて御覧頂けたらと思います。
副委員長	1番を委員のみなさまに音読をしていただけたらと。
委員	音読
委員長	委員からご意見をお願いいたします。
委員	宍粟市の特徴とか、市への愛着とか、親しみやすい表現など実際、音を付けて歌ったイメージが湧かないです。
委員長	ありがとうございました。次の委員さんお願いします。
委員	前回の会議の内容から考えて、昨今、英単語が入ってくる。とてもいいのですが、ちょっとびっくりしたのが第1印象で、作詞された先生の思いというところを拝見すると、スーツ、ネクタイではなくジーンズ、Tシャツで歌っているというふうなイメージで見たら、やっぱりこの感じになるのかなと思いましたし、成案と腹案を比べたときに、やっぱり成案のほうグリーングリーンMYCITYを2回繰り返しているというところで、成案のほうもし曲をつけるなら、明るいテンポのいい曲になるのかと思います。
委員長	次の委員さんお願いします。
委員	前回の話でも、ありましたけど、やっぱり堅苦しいような曲調よりは、皆さんが歌いやすいようなものいいっていう意見が多かったと思うので、曲がついたら皆さんに親しまれるような歌詞だと思いました。私も個人的にはもう少し硬い市歌っぽい、短いものいいかなと思ったのですが、歌詞に関しては、意見はありません。いいと思います。
委員長	次の委員さんお願いします。
委員	私も流石だなと言うところと、確かにその曲をつけるとどうなるのだろう。どういうふうにというイメージが私も、まだ湧かないです。タイトルがグリー

	ングリーンMYCITY、ということで、その意味っていうものはどういふふうな感じでつけられたのかなというのと、結局サビの部分グリーンMYCITYっていうところがサビの部分になりますよね。そう思ったときに、やっぱり1番、よく聞かれる、耳にするような、メロディーラインになってくるかなと思います。そのときに、グリーンMYCITYという言葉が本当にいいのかどうかっていうところで、何か、まだそのところは私も何とも言えない感じです。
委員長	次の委員さんお願いします。
委員	あれだけたくさんあった中で、ここまでぎゅっと凝縮していただいているのはすごいと思うのですが、私も一緒に、曲調がまだつかめないっていうのと、私個人のこともかもしれないのですが、サビの1番大切なグリーンMYCITYというところが、絶妙に違和感がありそうで、親しみやすいとは何かまたちょっと違った方向の親しみやすさに行ってしまうのではと、少しそこが心配ではあります。
委員長	次の委員さんお願いします。
委員	違和感があるなとも思いました。千種に住んでいる人からしたら、揖保川って書かれたら千種も出してほしいっていうところが1つ気になりました。
委員長	次の委員さんお願いします。
委員	グリーンMYCITYというのは小さい頃に、耳にした曲のイメージで、そこはうーんと思いました。以上です。
委員長	次の委員さんお願いします。
委員	私も他の委員が1番先に言われたここであんなにこういうのが来るのかと思ってグリーンMYCITYにちょっと驚きました。それが1番で、何人かが言われましたグリーンMYCITYという曲、それがやっぱり、すごく有名な曲だからそっちが先行する感じがします。 細かいことで言うと、1番最初に出てくるのが「下」という言葉は、ちょっとマイナスのイメージかなと思うのです。上とか前とかだったらいいのだけど、「下」というのは、少しほかの言葉に、変えようがないのかなと思います。マイナスのイメージが私にしたら強いのです。それから、日本酒のことについてですけども、日本の酒の生まれたところ、ずばり書くしかありません。伝統の雫は四国の有名な、ジュースの名称である、と書いてありますが、だからといって伝統の雫をつかえないということなのではないのでしょうか。それと、さっき言われた揖保の大河の雫っていうこの言葉が、清らかな水が生む伝統の雫、これは使えないのだろうか。そしたら揖保も千種も入るし、それから、伝統の雫が使えないということなのではないのでしょうか。

委員	私は、市歌と言ったら、もっと硬いような感じの歌詞が出てくるのかなと思ったら、非常に明るいような感じの歌詞だったので、皆さんがちょっと違和感を持っておられるグリーングリーンMYCITY、グリーングリーンMYCITYと言うところは良い感じの内容だと思いました。皆さんのほうからいろいろな御意見を頂戴しましたが、これにつきまして、もう少し歌詞を考えたらどうだろうと委員からも話が出ました。その辺も含めて、この歌詞について、もう少しこの辺をこうしたらどうか、いやいやもうこのままで良いという意見とかいろいろあるかと思います。その辺のところも少し聞かせ頂きたいなと思います。
委員	先ほど委員がおっしゃったことを考えただけでも引っかかると思うのですが、だからといって、ではこうしたらという案も思い浮かばず、少し考えているのですけど。もしこの歌詞でいくとしたら曲次第になるのかというのが、率直な気持ちです。
委員長	次の委員さん何かありませんか。
委員	サビを変えたいです。曲、曲名もこのままいってしまっているのだから。後からつけるっていう案はないのですか。
委員長	次の委員さん何かありますか。
委員	私も1番はやっぱりサビの部分で、多分このグリーンとMYCITYというのが、絶妙に違和感があるかと。このグリーングリーンがほかの言葉だったら、また印象が変わっただろうし、ただ、MYCITYとくることによって、少し、絶妙に違和感を、醸し出されるのかなと感じました。サビが1番気になるのと、また委員が言われたように、1番最初から、「下」とか、見えないだろうっていう少しマイナスの言葉が入っているので、このままの言葉を使うのだったらこの文言は2番に持ってくるほうにしたほうがいいのかと思います。やっぱり1番初めは印象が大切なので少し明るい言葉のほうがいいのかと思います。でも1番は、サビです。サビまではすごくいい感じの詞なのですが、1番大切なこのサビは、小さな子が歌うとなったらいいかもしれないけれど、考えようによっては、少しここが1番気になります。
委員長	次の委員さん何かありますか。
委員	イメージが湧かないです。
委託事業者	A案とB案と2案の曲を提出するので、それをまたベースにして判断頂いてもいいかと思います。
委員	曲を付けてそれを聞いてもらって、その中で違和感がないかどうか、判断するのも一案かと思います。

委員	次回の集まりのときに、作詞の先生と一緒にオンラインできませんか。
事務局	オンラインで、作詞家の方と直接どうでしょうか。
委託事業者	やったことはないのです。私が全部皆さんの意見を聞いてお話ししてキャッチボールするというような感じです。 例えば、事務局にまとめてもらってお話をするというのは可能だと思うのですが、ただやっぱり数人がおられてそれぞれの思いがいろいろ違うのに、一々その言葉を、揖保川入れてくれとか、いや要らないとか、いわゆる作家は非常に困ると思うので、ある程度、まとめた状態で事務局がお話ししていただくとか、変な言い方ですけどそのために私がおるわけです。こうして会議をしているのは、皆さんの御意見をそのまま聞いてお伝えすることです、1番いいのは市がはっきりこれいいよと決めた状態で曲にするのが1番いいです。ただその段階で皆さんがいろいろまとまらないということであれば、もうちょっと、検討する余地があるのかどうかということになります。「下」という部分とか、揖保川のことをどうするかって言う点も伝えることは全然問題ない。それに対して回答がすぐ出ますので、こういうふうにしましょうとか、なぜ「下」というような言葉を最初から使ったのかということ私には聞いていませんけど、それは作詞家のコメントを頂くことができると思います。
委員長	歌詞の「下」というのを検討していただくというのと、「揖保」というのを変えたほうがいいのかどうかということですが、千種の方はできれば変えてもらいたいということですね。
委員	フレーズ募集でやっぱり揖保川っていうワードが多かったっていうのを尊重するならば、入っていても、おかしくはないんですけど。ただ、ほかの歌詞を見たときに、実粟以外で固有名詞が入っているのが揖保の部分だけなので、それだったら揖保って入れずに、川を表現する何かに変えていただいたら平等な感じでいけるのかと思いますし、私も歌詞ができる前は何か実粟の特徴の固有名詞とか入れてったほうがいい歌になるのかと勝手な思い込みがあったのですが、そうでもなくいい曲になるだろうという期待はありますので、私は揖保っていうワードがあっても、それはそれで市民の声を尊重しているし、なかったとしても、別に違う表現をしていただけたらいいのかと思います。
事務局	揖保川を投稿されている方がたくさんいらっしゃるのですが、場所を指しているのか、そういう清らかさのイメージをされているのか、流れ、動き、とかそういったイメージを持って揖保川と書かれているとかいろんな思いがあると思います。端的に言うとその場所だけを指しているのではなく、この歌詞を読むと多分水のきれいさなど表現されていると思います。時間の流れを合わせて2番は構成されているのかと思います。花とか星は、動きが、空や山は、下から上を見上げて広さとか空間とか、いろんなその奥行きとか広さを表現されるために、下から入っているのかという気もするのですが、おっしゃるよ

	うに作詞家の先生はいろんなつながりを、何か表現1つにまとめられているのかと思うので、なかなか言葉1つ変えてというのは、大変な作業なんじゃないかないう気はするのです。おっしゃるとおり揖保じゃなくて例えば、源流とかそういう水の発進というか、最初の始まりみたいなことになるのであれば、それでいいのですけども、多分いろんな思いがあって書かれているのだろうなという感じがします。
委託事業者	例えば宍粟市は、一体、日本のどのあたりにあるのか。例えば揖保ってあれば、大体ここだと分かるのですが、これがなかったらどこでも共通するような空とか星とか山とかになる。揖保ってというのはこの川を流れている町かなっていうぐらいです。一体、宍粟市ってどこにあるのってというのは全く分からない状態にはなるのではないかと。揖保ってというのはね、ほかの町にも流れているとは言っても、やっぱり宍粟市を日本の地図で表す上では、非常に重要なところではないかなというふうにこれは私の勝手なよそ者が感じるところなのですが、作詞家も多分そこを感じて書いているのではないかなと思います。
委員	可能かどうか分からないのですけど、このサビの部分一旦これじゃない、違うものでも出していただくことができるのですか。
委託事業者	そういった話をすれば、また考えてくれると思います。ただその前になぜグリーングリーンが引かかるのかということと言わないと理解はできないと思うので、ただ単に変えてくれじゃなくてこういうところは嫌だから、ちょっと別の表現ないですかっていうほうがより具体的に分かります。
委員	グリーングリーンMYCITYを何かに変えることができますか。
委託事業者	ここだけを別の表現にしてやりとりしてすることは相談できますが、イメージして詞を書いていますので、全体が変わるだろとは思いますが。多分、作詞家はここを言いたかったのだろうなと思います。強調したかった部分、サビで使いたいフレーズなので、ただ、おっしゃるようにそういうイメージのフレーズと同じような、作曲メロディーになるかどうかというのは、作曲家によって全然変わってきます。ただ、曲をつくるときに、できるだけ払拭してほしいということは可能です。それが本当に皆さんが気に入るかどうかが、また別の歌詞にして言うことは可能だと思います。皆さんグリーングリーンをどういうふうに感じておられるかっていうのは、十人十色だと思います。あとは、作詞家が作ったものに対して意見を言ってもらうのが1番分かりやすいのではないかなとは思いますが。イメージの世界だけ御意見頂戴しているような感じなので、形がこれでよければ字脚だけ変えることで、詞を変えることは可能です。それに基づいて出した曲に対して、気に入らないということだったらそれはそれなりにまた言うことは可能です。
委員	取りあえずこれにメロディーをつけてもらって、あと、ちょっと気になるところを、変えることができるかというようなことを、作詞家に伝えていただい

	て、詞をつけてみたら全然私たちの思っているグリーンじゃないかもしれません。
委員	いい感じになっているかと思うかもしれない。人柄とかそういうのを表現するっていうのも大事ですけど、微笑み通い合うで結構出ているかなという気はします。委託事業者が言っていた、空、山、花、星、町というふうによく流れていて、何か、うまくグリーングリーンMYCITYを変える言葉が出てくればと思います。
委員	歌詞を何か提示していただけるほうがありがたい。
委託事業者	多分ほかの詞は、歌えなくてもこのグリーングリーンのところは勝手に、特に子どもたちの場合はすぐに出てくると思うのですが、サビの部分とはそういうものです。ただそれは覚えやすいという別の考え方で言えば、非常に親しみやすく覚えやすいフレーズであるということにはなります。ただそれがメロディーになった場合、何か聞いたような感じだなとかにはならないようにする必要はあるかとは思いますが。
事務局	いろんな思いで作詞家の方が作成されている意図が読める。宍粟のイメージをしっかりとここに託されているので、そのイメージを残しながら、事務局から皆さんの意見を尊重して委託事業者にしっかりと伝えさせていただくということはどうですか。
委託事業者	ただ、タイトルに持ってきているぐらいだから相当グリーンにはイメージがあったのでしょうか。
事務局	揖保とは、私の中では大河ではないのです。源流の町っていうのが千種でも、揖保川でも、私は源流っていうイメージが大きかったので、宍粟市ってすごく大きくて広いので、本当に1滴の雫の源流から大河へ繋がっていく、流れが、見えるなって思うのですが、ここにどう入れるかまでは案がないのです。委託事業者より揖保で宍粟が、特定できるのではないかっておっしゃったのですが、これは観光客のために作る歌ではなく、やっぱりみんなで自分たちの町を思ってそれぞれが、心に自分らの風景を思い浮かべながら歌うなら揖保がなくてもいいかと思います。
委託事業者	揖保は入れなくていいですね。
事務局	委員がおっしゃった「見えないだろう」というこのマイナスのイメージのところはどこまで払拭できるかということと、「下」だけでなく作詞家は、いろんなことを考えて、恐らくここを大切にされるということで、題目にも、グリーングリーンMYCITYまで入れてサビのところを考えていただいていると思います。ただ、非常に違和感を覚えらるグリーングリーンというところもあるので、申し訳ないのですがここを大きく表現を変えていただきたい。

	ただ、緑は、宍粟のイメージを出していただいているというのでは十分理解をしているので、可能な限りそのイメージを残しながらも、表現を変えていただくということで多分皆さん言っていたかと思いますが。それと、揖保は、市民に親しんでもらってという部分ではなくてもいいのではないかいことと、ただ、川のイメージはここにはしっかり残していただくことは重要なと思います。また、人の部分が最後にありますが、「人、微笑みが通い合う」というところで、そこにも魂が込められているというところだと思います。
委員	作詞家が、真剣につくってくださって、もちろんお金も発生していることなので、違和感があるからやめてくれとはなかなか言いにくいと思います。1 番のところはグリーングリーンというを、皆さん連想し、聞いたことがあると最初、第一声で言われていたから、違う言葉に変えてくれませんか、言い方ではないかなと。逆にどういう言い回しがオシャレで最新のワードでどんなのがいいのかと、提示できないですから、だからそのグリーングリーンとMYCITYの組合せなのですが、グリーングリーンというのがほかの曲を、有名曲を連想させるので、ほかの言い方を考えてくださいという言い方で、どうでしょうか。 多分具体的にこっちから、これにしてくれって言わないと困られると思います。
委員	それならもうグリーングリーンとかを使われないように、片仮名とかを使わないように考えていただいたほうがいい。
事務局	修正のところをもっと具体的なお願いをさせていただくことが、可能な限り皆さんとの違和感が生じないように、お願いできたらいいのですが、なかなかそこまで十分に意を尽くしてないのですが、作詞家に伝えていただけますか。
委託事業者	伝えます。
事務局	勝手なと言いますが、これまで宍粟市に関わってくださったという特別な感覚で、どう表現していただけるか、また託すことになりますが、今申し上げた点を見直していただいて、次回 10 月 16 日の会議までに作詞家と、話をしていただいて、そこに間に合うのであれば、次回の会議でお願いできますか。
委託事業者	分かりました。明日、作詞家と話してみます。
委員長	申し訳ないですけど、よろしくお願いいたします。 それから今日はこのあと曲調の検討をするということにしましたが、時間のほうも大分経過していますので、曲調の検討については、次回の 10 月 16 日、19 時からということでよろしくお願いします。それでは私の進行は、これで終わらせてもらい、事務局にお返ししたいと思います。よろしくお願いいたします

事務局	ます。 今回の会議のときに、曲調の議論になりますので、イメージがよりみんなで共有できるように、例えば、こういう音楽が、いいなとか、もしCDとか曲名を言ってくださったら、次回、会議のときに紹介して共有したいと思います。2点ご報告させてください。市歌のフレーズの応募を皆さんから非常に多く頂きました。その中で、抽選で10名の方に、特産品の詰め合わせをプレゼントさせていただきます。委員の中の3名の方に、8月1日から、PRしていただいたとおり、丹波の黒太郎と、山椒醤油と、リンゴのジャムと、かき餅を詰め合わせて抽選して送らせていただきます。 もう1点です。歌詞もでき、曲もでき最終的に録音して、CDになって成果物になります。出張録音を委託事業者も手がけられておりまして、例えば出張録音を山崎文化会館ですることによって多くの市民の関わりがより濃くなるのではないかというのを、3人の委員からご意見頂きました。委託事業者にも相談したところ、山崎文化会館を委託事業者に先日見ていただきまして、十分録音ができると言っていただきました。宍粟市吹奏楽団の皆さんと、また宍粟市少年少女合唱団の皆さんにぜひ、一緒に関わっていただいて、出張録音をさせていただきたいと思っております。市のほうも、その方向ですることによって、より普及啓発にもつながりますし、将来、関わってくださった皆さんが、伝承をしていただければ、ずっと後世にもつながると思いますので、ぜひその方向でさせていただきたいと思っております。 近々に、2つの団体の代表の方にお会いをして出張録音の依頼をさせていただきたいと思っています。また、令和7年6月29日に、市制20周年記念式典を山崎文化会館で計画をしています。その時に市歌のお披露目を考えており、2つの団体の代表の方に協力をお願いさせていただこうと思っています。 以上、2点、報告させていただきます。また、方向性が整理できましたら、報告させていただきたいと思っています。よろしくお願いいたします。閉会にあたりまして、副委員長より御挨拶をお願いします。
副委員長	歌詞については、いろんな意見がありましたが、作詞家に感謝の意見もありました。最終的にはいい歌で良かったなといえるようにできればと思っています。大変遅くまでありがとうございました。 ～ 以上をもって終了 ～